

令和6年度

介護支援専門員 専門研修課程Ⅱ

カリキュラム

長野県

長野県介護支援専門員研修懇話会

長野県介護支援専門員研修企画懇話会

「介護支援専門員資質向上事業」

(介護支援専門員研修 実施要綱 長野県版)

科目番号・科目名	ページ番号
科目1 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	2
科目2 ケアマネジメントの実践における倫理	2
科目3 リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	2
○ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ※1	
科目4 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	3
科目5 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	3
科目6 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	4
科目7 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	4
科目8 心疾患のある方のケアマネジメント	5
科目9 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	5
科目10 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	6
科目11 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が 必要な事例のケアマネジメント	6
集合研修 演習カリキュラム	7

※1 ※いずれかの科目においてリハビリテーション及び福祉用具それぞれの活用に関する事例を用いた演習を行うこと

研修名：介護支援専門員 専門研修課程Ⅱ

科目1	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	講義 3時間	オンライン研修
<b>目的</b>			
<p>介護保険制度の最新の動向、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた現状の取組を理解した上で、今後の地域包括ケアシステムの展開における介護支援専門員としての関わりを理解する。 また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度等を理解する。</p>			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状と動向の確認</li> <li>・介護支援専門員が果たすべき役割の再確認</li> <li>・利用者のニーズに合わせた社会資源の活用</li> </ul>			

科目2	ケアマネジメントの実践における倫理	講義 2時間	オンライン研修
<b>目的</b>			
<p>高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等の動向を確認するとともに、ケアマネジメントを実践する上で感じた倫理的な課題の振り返りを行い、実践のあり方の見直しを行う。</p>			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員の基本姿勢の再確認</li> <li>・高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等の理解</li> <li>・ケアマネジメントの実践において直面しやすい倫理的課題とそれに向き合う重要性</li> </ul>			

科目3	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	講義 2時間	オンライン研修
<b>目的</b>			
<p>リハビリテーションや福祉用具等を活用するに当たっての知識や関連職種との連携方法、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントについて理解する。</p>			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーションや福祉用具等を活用するための関連知識</li> <li>・福祉用具、住宅改修を活用するための視点</li> <li>・医師、リハビリテーション専門職等との連携</li> <li>・インフォーマルサービスを含めた地域の社会資源の活用</li> </ul>			

科目4	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	講義・ 演習 2時間	オンライン研修 集合研修
<b>目的</b>			
「適切なケアマネジメント手法」の「基本ケア」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解の確認</li> <li>・ 適切なケアマネジメント手法の理解</li> <li>・ 「基本ケア」の理解</li> <li>・ 疾患別ケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割</li> <li>・ 実践事例の研究における考え方</li> <li>・ 地域の社会資源の活用</li> <li>・ 家族等に対する支援についての再確認</li> </ul>			

科目5	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表理解 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	講義・ 演習 3時間	オンライン研修 集合研修
<b>目的</b>			
脳血管疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。			
また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（脳血管疾患がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疾患の理解の確認</li> <li>・ 脳血管疾患のある方のケアマネジメント</li> <li>・ 「脳血管疾患のある方のケア」において想定される支援内容とその必要性等の理解</li> <li>・ 多職種協働（チームアプローチ）による対応</li> <li>・ 脳血管疾患のある方の実践事例の研究</li> </ul>			

科目6	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	講義・ 演習 4時間	オンライン研修 集合研修
<b>目的</b>			
<p>認知症の特徴や療養上の留意点、起こりやすい課題の理解を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。 また「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（認知症がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患の理解の確認</li> <li>・認知症に関わる制度・政策動向の理解</li> <li>・認知症のある方のケアマネジメント</li> <li>・「認知症のある方のケア」において想定される支援内容とその必要性の理解</li> <li>・多職種協働（チームアプローチ）による対応</li> <li>・認知症のある方の実践事例の研究</li> </ul>			

科目7	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	講義・ 演習 3時間	オンライン研修 集合研修
<b>目的</b>			
<p>大腿骨頸部骨折の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。 また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（大腿骨頸部骨折がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患の理解の確認</li> <li>・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント</li> <li>・「大腿骨頸部骨折のある方のケア」において想定される支援内容とその必要性の理解</li> <li>・多職種協働（チームアプローチ）による対応</li> <li>・大腿骨頸部骨折のある方の実践事例の研究</li> </ul>			

科目8	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 心疾患のある方のケアマネジメント	講義・ 演習 3時間	オンライン研修 集合研修
<b>目的</b>			
<p>心不全につながる心疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p> <p>また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（心疾患がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患の理解の確認</li> <li>・心疾患のある方のケアマネジメント</li> <li>・「心疾患のある方のケア」において想定される支援内容とその必要性の理解</li> <li>・多職種協働（チームアプローチ）による対応</li> <li>・心疾患のある方の実践事例の研究</li> </ul>			

科目9	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	講義・ 演習 3時間	オンライン研修 集合研修
<b>目的</b>			
<p>誤嚥性肺炎の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p> <p>また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（誤嚥性肺炎の予防のためのケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患の理解の確認</li> <li>・誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメント</li> <li>・「誤嚥性肺炎の予防のためのケア」の理解（想定される支援内容とその必要性等）</li> <li>・誤嚥性肺炎の予防に関する実践事例の研究</li> </ul>			

科目10	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	講義・ 演習 3時間	オンライン研修 集合研修
<b>目的</b>			
<p>看護サービスの活用が必要な事例を用いて講義・演習を行うことにより、看護サービスの活用に係る知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。</p> <p>また、演習等で得られた看護サービスの活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。</p>			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取りを取り巻く動向の理解</li> <li>・在宅看取りに関する理解</li> <li>・在宅看取りにおけるケアの理解</li> <li>・ケアマネジメントの各プロセスにおける留意点</li> </ul>			

科目11	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	講義・ 演習 4時間	オンライン研修 集合研修
<b>目的</b>			
<p>家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例の特徴、関連する施策の内容や動向、対応する際の留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p> <p>また、演習等で得られた家族への支援や他法他制度の活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。</p>			
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族等に対する支援の必要性や支援における介護支援専門員の役割や留意事項の理解</li> <li>・社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例を学ぶ必要性の理解</li> <li>・他法他制度の活用が必要な事例の特徴、対応する際の留意点の理解</li> <li>・難病のケアマネジメントの理解</li> <li>・難病のケアマネジメントの過程の理解</li> <li>・高齢者虐待に関する基本的な考え方や動向の理解</li> <li>・障害者支援に関する基本的な考え方や動向の理解</li> <li>・他法他制度の活用が必要な方の実践事例の研究</li> <li>・その他の関連する他法他制度の動向の理解</li> </ul>			

## 演習カリキュラム 長野県版

<p>○ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ※いずれかの科目においてリハビリテーション及び福祉用具それぞれの活用に関する事例を用いた演習を行うこと</p> <p>生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント 脳血管疾患のある方のケアマネジメント 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント 心疾患のある方のケアマネジメント 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント 看取り等における看護サービスの活用に関する事例 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント</p>	<p>1日間  9：30 ～ 17：00</p>	<p>集合研修</p>
--	--	-------------

### 習得目標

#### 【初回更新】

自らの実践を振り返り、特に個別事例に基づいて他の事例にも対応できる事項を抽出し、地域課題を捉えて多職種連携や地域課題の解決に向けた社会資源への働きかけを実践できる。

#### 【2回目以降更新】

基本の内容、最新の専門研修課程Ⅰの内容を復習する。

自らの課題の明確化し、研鑽の重要性がわかる。

### 習得内容

#### 【初回更新】

○自らの実践を理論と結び付けて説明できる。

#### 【2回目以降更新】

○自らの実践を理論と結びつけて説明できる。

○ケアマネジメント実践の共通の課題を抽出するプロセスがわかる。

○多くの実践を分析する中から、個別ケアの重要性を再確認できる。

○個別事例から地域課題の抽出につなげていく視点や考え方がわかる。



